

2020年8月吉日

日本放射線腫瘍学会

第2回 COVID-19 全国実態調査結果報告

謹啓

いつも日本放射線腫瘍学会（JASTRO）活動では大変お世話になっております。COVID-19 対策アドホック委員会では、本年7月13日より27日まで国内の放射線治療部門での診療への影響に関する第2回実態調査アンケートを行い、239施設261人よりご回答頂きました。忙しい日常診療の中で、多大なご協力を頂き、まことにありがとうございました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。ここにその集計結果を、ご報告させていただきます。先生方の日々の診療にお役に立てれば幸いです。

また本アンケートは経時的な変化が重要と考えますので、今後も定期的調査を繰り返してお願い致します。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

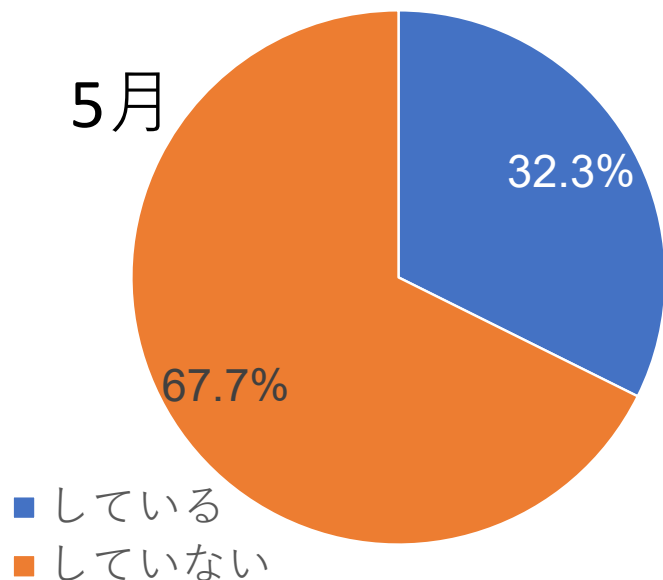
謹白

JASTRO 日本放射線腫瘍学会 COVID-19 対策アドホック委員会
玉利慶介、永田靖、溝脇尚志、古平毅、大西洋、小川和彦、塩山善之、茂松直之、宇野隆

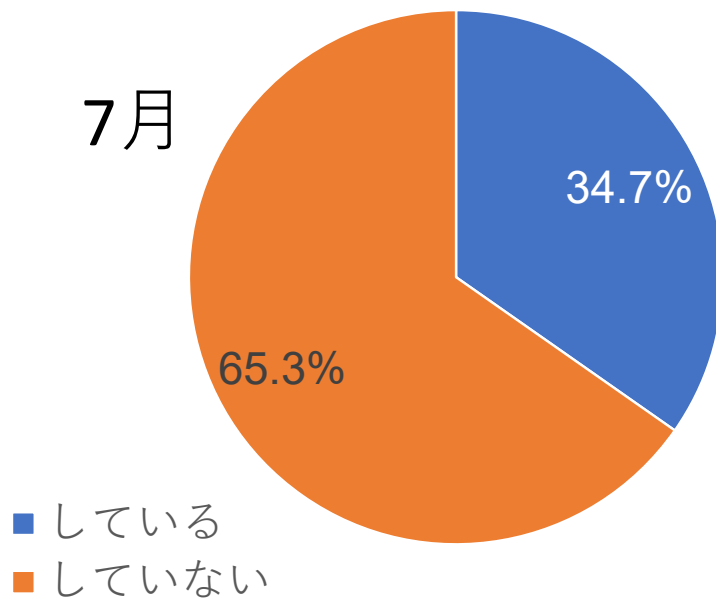
前回調査と比較して、寡分割照射対応は大差なし

小分割照射の積極的採用

5月



7月



前回調査以後に全国放射線治療部門関連で
コロナ感染者がどの程度発生しているのか？

- 239施設中、1施設において
7月初旬にスタッフ(病棟看護師)に発生
治療業務停止なし

前回調査以後に現在でもコロナ対策は継続されているのか？それとも緩和されているのか？

患者の対策	5月(%)	7月(%)	スタッフ対策	5月(%)	7月(%)		5月(%)	7月(%)
検温(自宅)	61.5	69.0	検温(自宅)	78.9	82.4	治療患者数を削減	16.9	5.9
検温(病院)	64.4	64.4	検温(病院)	41.8	39.7	治療患者数を今後削減予定	2.8	1.7
マスク着用必須化	80.7	89.1	マスク着用必須化	98.7	99.2	治療後経過観察間隔の延長	43.9	33.6
手指消毒徹底	80.2	87.4	手指消毒徹底	98.9	99.2	小分割照射の積極的採用	32.3	34.7
待合で距離とる	90.1	92.9	ゴーグルやガウンの着用	32.1	37.2	外来入院患者の治療時間帯の区分	28.6	32.6
COVID19患者との接触歴確認	59.6	68.2	同僚との距離確保	69.0	71.1	複数治療装置の集約化	2.8	2.9
			食事を個別にとる	66.9	65.1	部門内対策会議の実施および文書化	51.6	59.8
			共用物の定期的消毒	90.3	92.1	BCP（事業継続計画）の策定	23.3	30.1
			治療部門内の換気	75.4	78.2	医療スタッフの2チーム体制	12.1	8.4
						カンファレンス規模縮小	55.2	45.2

患者、スタッフへの対策は継続され、より徹底されている項目も多い

治療部門内での対策はやや緩和傾向

JASTROへの新たな要望は？

- COVID-19発生施設からの発生状況報告の希望
- セミナーや学会はWEB開催の希望
- 感染状況に応じたガイドラインのアップデート
- 換気の工夫について
- 岡江氏報道に対する学会の声明をメディアを使い周知してほしい
- 地域による状況の違い、施設による状況の違いを十分に勘案した情報発信をしてほしい
- WEBセミナーの動画を後からでもみれるようにしてほしい
- WEBセミナーの開催についてJASTROgramで周知してほしい
- WEBセミナーの専門家の人選は慎重にほしい

全国放射線治療部門における 第2回実態調査結果

- 2020年7月に全国調査を行い、239施設から回答を得た。
- 昨年同時期と比較して、36%の施設で放射線治療患者数の減少傾向が見られた。
- 第1回調査(5月)と比較して、患者やスタッフの感染対策は継続ないしより徹底されていた。部門内の対策については一部で緩和傾向がみられた。
- 前回調査以後は、1施設で放射線治療部門職員にCOVID-19陽性患者が発生したが、治療休止は必要なかった。